



働く人の健康支援事業

事例集

～メタボリックシンドローム対策戦略事業～



はじめに

宮城県では、総合的な健康づくりの指針として「みやぎ21健康プラン」を作成し、健康寿命の延伸をめざして、栄養、運動、休養等の県民の健康づくりをすすめています。

宮城県が実施している県民健康・栄養調査によると、特に20歳から50歳の働き盛り世代において、運動不足や不適切な食生活による肥満者の急増、さらに、ストレス等による多量飲酒や喫煙等、生活習慣病につながる課題も多く見られます。

平成20年度から、メタボリックシンドロームに着目した特定健診が実施され、ハイリスクの方への保健指導がすすめられていますが、生活習慣の改善は個人の意思や努力だけでは実行や継続が難しく、働く人を取り巻く環境がとても重要です。

そこで宮城県では、県内のモデル事業所に御協力をいただきながら、事業所ぐるみの健康づくり事業（働く人の健康支援モデル事業）に取り組んで参りました。

この事業は、県内7保健所からヘルスサポートチームを県内27事業所に派遣し、事業所の希望や特性に応じたコース別プログラムにより、1年間にわたり健康づくりの支援を行い、延3,329人の従業員の方に参加いただいたものです。

その平成20年度の取組みの中から、ご了解をいただいた9事業所の取組事例を抜粋し紹介いたします。

使用した媒体等も参考資料として掲載しておりますので、ダウンロードしてそのままご使用いただけます。

この事例集を、県内事業所はもちろんのこと、市町村やNPO等、広くご利用いただければ幸いです。

最後になりましたが、事業に御協力いただきました事業所の皆様に感謝申し上げますと共に、事業の実施に御尽力いただきました地域・職域連携推進部会の関係各位に、この場をお借りしてお礼申し上げます。



宮城県保健福祉部健康推進課長